

あたたかい
心のひかる
福祉のまちづくり

岡山市連合婦人会会報

令和6年3月5日
編集兼発行人
岡山市連合婦人会
塩見 横子
岡山北区大供一丁目一
生涯学習課内
電話八〇二一六〇六

栄えある「愛の泉賞」受賞者の皆さん
市長と共に記念写真



愛の泉賞 6人、2団体表彰

令和六年一月二十日（水）四年ぶりに岡山市連合婦人会の新年互礼会がビュアリティまきびにおいて行われました。コロナの規制も緩和され、来賓二十二人、婦人会員八十名と大勢の参加でした。

先ずは福浜学区会長の松井春代さんのおめでたい詩吟「松竹梅」で幕開けしました。塩見横子会長からの「一人では何もできませんが、みんなで協力して」

決意新たに新年互礼会 4年ぶり 詩吟で幕開け

地域のために頑張っていきたいという気持ちに続き、ご来賓の方々のあいさつがありました。

大森雅夫市長は公務のため、遅れての参加になりましたが、到着早々神主の衣装に着替えて、各テーブル、各テーブルのお祝いを回していただきました。

参加者はいよいよお料理をいただきながら、楽しいおしゃべりしていきまし



4年ぶりに開催された新年互礼会であいさつする塩見会長

最後は、神主に扮した大森市長からお祝いの言葉をいただきました。

「青い山脈」と「365歩のマーチ」を合唱してお開きになりました。

令和六年もみんなで力を合わせて、地域活性化のために頑張っていこうと、決意を新たにしました。

師走の穏やかな日との良き日、令和五年十二月十日（日）岡山ふれあいセンター（岡山市中区桑野）で、四班に分かれ料理を作り会食しました。その後部屋を変えて交流会になりました。

まちづくりに貢献

愛の泉賞 6人、2団体表彰

会長の横山民元会長のご遺族からも岡山市に寄付がありました。

岡山市ではこれらの寄付をもとに「岡山市愛の泉基金」を設置し、寄付の趣旨に沿った活動のあつた個人や団体を表彰してきました。

今年度は六人と二団体です。一「横山民元賞」個人は、灘崎二部野淑恵さん。二「横山民元賞」個人は、灘崎二部野淑恵さん。三「横山民元賞」個人は、灘崎二部野淑恵さん。四「横山民元賞」個人は、灘崎二部野淑恵さん。五「横山民元賞」個人は、灘崎二部野淑恵さん。六「横山民元賞」個人は、灘崎二部野淑恵さん。

Xマス料理で出会いを カップル誕生をお手伝い

「布で作るチュールリップ」を親子で体験してもらいました。

裁縫は初めてという子どもがほとんどで縫い針をどうやって持ったら危なくないか、布の向きをどうすればスムーズか、ワイヤーを強く巻くコツは：など、実際に体験することで子どもの柔軟な頭脳とわくわくする感性が育まれたこと思い出します。



交流会に参加した市議員

お揃いのエプロンでクッキングをお手伝いした会員

物、菓子をつまみながらトークタイム、最後はプレゼント交換をしました。和やかな活気があふれた時間も十五時三十分には解散となりました。

岡山市は少子化対策の一環として、独身男女の方を対象に出会いのきっかけの場を提供しています。私達も多くのカップル誕生を願って、少しでも力になればと楽しい一日を過ごしました。

まちづくりに貢献

愛の泉賞 6人、2団体表彰

「布で作るチュールリップ」を親子で体験してもらいました。

裁縫は初めてという子どもがほとんどで縫い針をどうやって持ったら危なくないか、布の向きをどうすればスムーズか、ワイヤーを強く巻くコツは：など、実際に体験することで子どもの柔軟な頭脳とわくわくする感性が育まれたこと思い出します。

令和6年度 婦人大会

主催 岡山市教育委員会
共催 岡山市連合婦人会

岡山市連合婦人会総会(9時45分開会)終了後、婦人大会を開催します。一般の方も入場可能です。

日時：令和6年4月17日(水)11時10分～12時30分
会場：岡山芸術創造劇場ハレノワ 中劇場
(岡山市北区表町3-11-50)

講師：岡山市市長 大森雅夫氏
演題：葬られた歴史～戦国時代と古墳時代の岡山～
問合せ先：岡山市教育委員会生涯学習部生涯学習課
(☎086-803-1606)



岡山ドームで楽しく布のチュールリップを作る親子と会員